

令和8年度 第9学年 数学科 年間指導計画及び評価規準

学期	月	時数	学習指導要領の内容	知識・技能 (評価方法: 定期考査、小テスト、提出物等)	思考・判断・表現 (評価方法: 定期考査、小テスト、提出物等)	主体的に学習に取り組む態度 (評価方法: 定期考査、提出物等)	
1	4	18	1章 多項式 (1) 多項式の計算 (2) 因数分解 (3) 式の計算の利用	<ul style="list-style-type: none"> <li>単項式と多項式の乗法及び多項式を単項式で割る除法の計算をすることができる。</li> <li>簡単な一次式の乗法の計算及び次の公式を用いる簡単な式の展開や因数分解をすることができる。</li> </ul> $(x+a)(x+b) = x^2 + (a+b)x + ab$ $(a+b)(a-b) = a^2 - b^2$ $(a-b)^2 = a^2 - 2ab + b^2$ $(a+b)^2 = a^2 + 2ab + b^2$	<ul style="list-style-type: none"> <li>既に学習した計算の方法と関連付けて、式の展開や因数分解する方法を考察し表現することができる。</li> <li>文字を用いた式で数量及び数量の関係を捉え説明することができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>式の展開や因数分解の必要性和意味を考えようとしている。</li> <li>多項式について学んだことを生活や学習に生かそうとしている。</li> <li>文字を用いた式を活用した問題解決の過程を振り返って評価・改善しようとしていたりしている。</li> </ul>	
			2章 平方根 (1) 平方根 (2) 根号を含む式の計算 (3) 平方根の利用 自己で選択・決定・調整できる授業として「学習の手引き」を利用	<ul style="list-style-type: none"> <li>数の平方根の必要性和意味を理解している。</li> <li>数の平方根を含む簡単な式の計算をすることができる。</li> <li>具体的な場面で数の平方根を用いて表したり処理したりすることができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>既に学習した計算の方法と関連付けて、数の平方根を含む式の計算の方法を考察し表現することができる。</li> <li>数の平方根を具体的な場面で活用することができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>数の平方根の必要性和意味について考えようとしている。</li> <li>数の平方根について学んだことを生活や学習に生かそうとしている。</li> <li>数の平方根を活用した問題解決の過程を振り返って評価・改善しようとしていたりしている。</li> </ul>	
	7	16	3章 二次方程式 (1) 2次方程式とその解き方 (2) 2次方程式の利用	<ul style="list-style-type: none"> <li>二次方程式の必要性和意味及びその解の意味を理解している。</li> <li>xの係数が偶数である二次方程式を平方の形に変形して解くことができる。</li> <li>二次方程式を因数分解して解くことができる。</li> <li>解の公式を知り、それを用いて二次方程式を解くことができる。</li> <li>事象の中の数量やその関係に着目し、二次方程式をつくることができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>因数分解や平方根の考えを基にして、二次方程式を解く方法を考察し表現することができる。</li> <li>二次方程式を具体的な場面で活用することができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>二次方程式の必要性和意味を考えようとしている。</li> <li>二次方程式について学んだことを生活や学習に生かそうとしている。</li> <li>二次方程式を活用した問題解決の過程を振り返って評価・改善しようとしていたりしている。</li> </ul>	
			4章 関数 $y = ax^2$ (1) 関数 $y = ax^2$ (2) 関数 $y = ax^2$ の性質と調べ方 (3) いろいろな関数の利用 自己で選択・決定・調整できる授業として「学習の手引き」を利用	<ul style="list-style-type: none"> <li>関数 <math>y = ax^2</math>について理解している。</li> <li>事象の中には関数 <math>y = ax^2</math>として捉えられるものがあることを知っている。</li> <li>いろいろな事象の中に、関数関係があることを理解している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>関数 <math>y = ax^2</math>として捉えられる二つの数量について、変化や対応の特徴を見だし、表、式、グラフを相互に関連付けて考察し表現することができる。</li> <li>関数 <math>y = ax^2</math>を用いて具体的な事象を捉え考察し表現することができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>関数 <math>y = ax^2</math>の意味と必要性について考えようとしてる。</li> <li>関数 <math>y = ax^2</math>について学んだことを生活や学習に生かそうとしている。</li> <li>関数 <math>y = ax^2</math>を活用した問題解決の過程を振り返って評価・改善しようとしていたりしている。</li> </ul>	
	2	10	5章 相似な図形 (1) 相似な図形 (2) 平行線と比 (3) 相似な図形の面積と体積	<ul style="list-style-type: none"> <li>平面図形の相似の意味及び三角形の相似条件について理解している。</li> <li>基本的な立体の相似の意味及び相似な図形の相似比と面積比や体積比との関係について理解している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>三角形の相似条件などを基にして図形の基本的な性質を論理的に確かめることができる。</li> <li>平行線と線分の比についての性質を見だし、それらを確かめることができる。</li> <li>相似な図形の性質を具体的な場面で活用することができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>相似な図形の性質の意味や必要性を考えようとしている。</li> <li>図形の相似について学んだことを生活や学習に生かそうとしている。</li> <li>相似な図形の性質を活用した問題解決の過程を振り返って評価・改善しようとしていたりしている。</li> </ul>	
			6章 円 (1) 円周角の定理 (2) 円周角の定理の利用	<ul style="list-style-type: none"> <li>円周角と中心角の関係の意味を理解し、それが証明できることを知っている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>円周角と中心角の関係を見出すことができる。</li> <li>円周角と中心角の関係を具体的な場面で活用することができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>円周角と中心角の関係の意味を考えようとしている</li> <li>円周角と中心角の関係について学んだことを生活や学習に生かそうとしている。</li> <li>円周角と中心角の関係を活用した問題解決の過程を振り返って評価・改善しようとしていたりしている。</li> </ul>	
	3	12	13	7章 三平方の定理 (1) 三平方の定理 (2) 三平方の定理の利用	<ul style="list-style-type: none"> <li>三平方の定理の意味を理解し、それが証明できることを知っている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>三平方の定理を見出すことができる。</li> <li>三平方の定理を具体的な場面で活用することができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>三平方の定理の必要性和意味を考えようとしている。</li> <li>三平方の定理について学んだことを生活や学習に生かそうとしている。</li> <li>三平方の定理を活用した問題解決の過程を振り返って評価・改善しようとしていたりしている。</li> </ul>
				1	5	8章 標本調査 (1) 標本調査	<ul style="list-style-type: none"> <li>標本調査の必要性和意味を理解している。</li> <li>コンピュータなどの情報手段を用いるなどして無作為に標本を取り出し、整理することができる。</li> </ul>
2		24	3	総合問題演習 自己で選択・決定・調整できる授業として「学習の手引き」を利用	<ul style="list-style-type: none"> <li>四則計算の方法を理解している。</li> <li>基本的な平面図形や空間図形の性質についての必要性和意味を理解している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>文字を用いた式で数量及び数量の関係を捉え説明できる。</li> <li>図形の基本的な性質などを具体的な場面で活用することができる。</li> <li>関数として捉えられる二つの数量について、変化や対応の特徴を見だし、表・式・グラフを相互に関連付けて考察し表現することができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>これまで学んだ内容の必要性和意味を考えようとしている。</li> <li>これまで学んだことを生活や学習に生かそうとしている。</li> <li>これまで学んだ内容を活用した問題解決の過程を振り返って評価・改善しようとしていたり、多様な考えを認め、よりよく問題解決しようとしていたりしている。</li> </ul>
		5	予備				
		140	140時間 【予備5】				